

平成24事業年度

決算の概要

自：平成24年4月 1日

至：平成25年3月31日

公立大学法人九州歯科大学

平成24年度決算の概要

I 貸借対照表

資産総額は、固定資産が186億8千2百万円、流動資産が6億3千3百万円の193億1千5百万円で、前年度に対して8億7千4百万円（4.3%）の減少となっています。主な要因は、減価償却（損益外減価償却費を含む）による減少（7億1千7百万円）及び現金及び預金の減少（9千8百万円）によるものです。

資産のうち、有形固定資産が96.7%を占め、このうち県から出資を受けた土地・建物が175億9千7百万円で94.3%を占めています。

負債は、固定負債が8億8千8百万円、流動負債が3億6千2百万円の総額12億5千万円で、前年度に対して9千7百万円（7.3%）の減少となっています。主な要因は、資産見返負債（注1）の減少によるものです。

なお、資産見返負債が8億8千4百万円と負債総額の70.8%を占めており、また、流動負債では、未払金が2億3千7百万円と65.5%を占めています。

純資産の部の総額は、180億6千5百万円で、前年度に対して7億7千6百万円（4.1%）の減少となっています。その主な要因は、県から出資された建物の減価償却等による損益外減価償却費（注2）が5億3千9百万円増加したこと及び利益剰余金が2億3千4百万円減少したことによるものです。

（単位：百万円）

資産の部			負債の部				
	23年度	24年度	増減		23年度	24年度	増減
固定資産	19,400	18,682	▲ 718	固定負債	991	888	▲ 103
有形固定資産	19,385	18,669	▲ 716	資産見返負債	982	884	▲ 98
（土地）	2,031	2,031	0	長期リース債務	8	3	▲ 5
（建物）	16,106	15,566	▲ 540	流動負債	356	362	5
（構築物）	355	343	▲ 12	運営費交付金債務	0	39	39
（工具器具備品）	189	142	▲ 47	寄付金債務	16	34	17
（医療用工具器具備品）	470	370	▲ 99	預り科学研究費補助金等	4	7	2
（リース資産）	28	9	▲ 18	預り金	32	32	0
（図書）	181	183	2	前受受託研究費	1	2	0
（美術品）	22	22	0	前受共同研究費	0	0	0
無形固定資産	14	12	▲ 1	前受金	1	0	0
流動資産	789	633	▲ 156	未払金	282	237	▲ 45
現金及び預金	575	477	▲ 98	リース債務	15	5	▲ 10
未収学生納付金収入	0	0	0	未払消費税等	1	2	1
未収附属病院収入	139	136	▲ 3	負債合計	1,347	1,250	▲ 97
その他の未収入金	53	0	▲ 53	純資産の部	23年度	24年度	増減
たな卸資産	1	1	0	資本金	19,679	19,679	0
医薬品及び診療材料	17	16	0	資本剰余金	▲ 1,214	▲ 1,757	▲ 542
資産合計	20,189	19,315	▲ 874	利益剰余金	377	143	▲ 234
				純資産合計	18,841	18,065	▲ 776
				負債純資産合計	20,189	19,315	▲ 874

注) 表示単位未満については切捨て表示しています。

注1 資産見返負債とは固定資産を取得した場合に相当する財源を振り替え、当該資産が費用化（減価償却費）される時点において資産見返負債戻入として収益化する会計処理のための勘定です。

注2 県から出資された教育・研究・診療用の建物は、減価償却費に見合う収益の獲得が見込めないことから、減価償却処理を損益計算書に反映させず、損益外減価償却費として資本剰余金から控除する取扱いになっています。

II 損益計算書

経常費用は、業務費が30億3百万円、一般管理費が2億9千3百万円、雑損が4百万円等の総額33億1百万円で、前年度に対して2百万円(0.1%)の減少となっています。その主な要因は、教員人件費、一般管理費は増加しましたが、役員人件費、診療経費、教育経費、研究経費が減少したことによるものです。

なお、業務費において大きな割合を占めているのが教員人件費(39.2%)となっています。また、一般管理費において大きな割合を占めているのが、施設維持管理にかかる報酬・委託・手数料(9千7百万円)となっています。

経常収益は、運営費交付金収益が14億4千9百万円、附属病院収益が10億3百万円、授業料・入学金・検定料の学生等納付金収益が4億4千7百万円等の総額32億2千8百万円で、前年度に対して1億2千8百万円(3.8%)の減少となっています。その主な要因は、附属病院収益が減少(1億2千5百万円)したことによるものです。

また、臨時利益は1百万円で、前年度に対して1億7千1百万円(99.2%)の減少となっています。その主な要因は、昨年度が第1期中期目標期間の最終事業年度であったため、特に昨年度においてのみ臨時利益に計上していた運営費交付金債務の残高(1億7千万円)を、今年度は計上しなかったことによるものです。

(単位:百万円)

費用の部	23年度	24年度	増減	収益の部	23年度	24年度	増減
経常費用	3,304	3,301	▲2	経常収益	3,356	3,228	▲128
業務費	3,048	3,003	▲44	運営費交付金収益	1,493	1,449	▲43
教育経費	197	177	▲19	授業料収益	367	373	5
研究経費	192	178	▲14	入学金収益	60	63	3
診療経費	717	688	▲28	検定料収益	10	10	0
教育研究支援経費	41	41	0	附属病院収益	1,128	1,003	▲125
受託研究費	19	8	▲11	受託研究等収益	21	9	▲12
役員人件費	71	40	▲31	補助金収益	57	120	63
教員人件費	1,123	1,178	54	寄付金収益	8	23	14
職員人件費	685	690	5	その他の業務収益	1	1	0
一般管理費	255	293	38	資産見返負債戻入	157	123	▲34
財務費用	0	0	0	財務収益	0	0	0
雑損	0	4	3	雑益	49	50	1
臨時損失	2	1	0	臨時利益	172	1	▲171
				当期純利益	222	▲73	▲296
				目的積立金取崩額	13	0	▲13
				当期総利益	235	▲73	▲309

注)表示単位未満については切捨て表示しています。

上記費用及び収益に係る増減理由により、収益から費用を差し引いた差額である当期純利益は▲7千3百万円で、前年度に対して2億9千6百万円減少しています。

また、当期総利益は▲7千3百万円で、前年度に対して3億9百万円減少しています。